

みんなが住みたくなる地域づくりをめざして

みんなで知恵を出し合いながら身近な地域の課題を解決する手法を5か月間4回にわたり学び、住みたくなる地域づくりについて考えていくための講座を開催しました。

講座では、最も身近な地域として自治会づくりにむけて、自治会の抱える課題を分析し、その課題に対する解決策について話し合っていました。

12月20日(土)に日野公民館で行った発表会では、講座を受講された皆さんから、3グループに分かれて、話し合われた内容を発表されました。その内容を紹介します。



声 かけから始める

「コミュニケーションを！」

グループ 「おあいこさま」

「つながりあえる地域の実現」と題して、発表されました。

課題

- ・地域での声かけが少ない。
- ・世代間の交流が少ない。

提案

- ・地域の人材を発掘し、得意分野を活かせるイベントを行い、声かけから仲間を増やし、みんなで一緒に活動することによって地域力を強くしていく。
- ・イベントとして、みんなの居場所となる里山づくりをしていく。

魅 力は私たちの中にある

グループ 「バカモノの風をおこそう」

グループ名と同じく「バカモノの風をおこそう」と題して、発表されました。

提案

- ・若者が考える女性の視点とは、お互いが考え方を柔軟にして前向きに取り組んでいこうという姿勢。
- ・持続可能な暮らしに興味を持つ人達のローカルネットワークで、気軽につながりをつくる。
- ・自治会の中に誰でも参加できる有志の組織を結成し活性化していく。
- ・西大路ユースクラブのどろんこパレ―は、地元自治会とつながりをもって、さらに地域に密着した愛される大会にしたい。



そ こへ行けば誰かがいる、ほっとする場所

グループ 「たのし荘」

「居心地の良い場所づくり」と題して、発表されました。

課題

- ・他府県に比べ健康寿命が短い。
- ・サークルなどに入っていない人達の交流が少ない。

提案

- ・老若男女を問わず、気軽に入れ、気楽にしゃべることにより認知症を予防し、お茶や手づくりのお菓子を食べたり、囲碁などの趣味ができるほっとする居場所をつくる。
- ・その居場所で、子育てサークルのように地域の人と子どもやその親が、悩みを聞いてもらったり、なごやかな雰囲気により繋がり合い、元気をもらう。

